

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 25 年 4 月 25 日 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分
開催場所	坂出中学校体育館
出席議員	<p>班長 若杉輝久 副班長 中河哲郎 司会 大藤匡文</p> <p>出田泰三 若谷修治 茨智仁 村井孝彦 前川昌也 大前寛乗 吉田耕一 山条忠文</p> <p>記録者 若杉輝久</p>
参加市民数	17 人
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶 吉田耕一</li> <li>・新年度予算の概要 前川 昌也</li> <li>・委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>総務消防委員会 茨 智仁</li> <li>教育民生委員会 若谷修治</li> <li>市民建設委員会 出田泰三</li> </ul> </li> <li>・閉会挨拶 若杉輝久</li> </ul>
	<p>質疑応答</p> <p>(質疑) 耐用年数が近づいた公共の建物の補強について (答弁) 公共の建物の耐震化についてはかなりの量がありますので一度にといいわけにはまいりません。そこで優先順位が重要になります。耐震化については私たちも十分認識しておりますので皆さんに心配をかけないよう取り組んでまいります。</p> <p>(質疑) 高松市や丸亀市に限らず全国的に人口が減少しています。そのような中で人口増に対する良い考えがあれば示してほしい。 (答弁) 人口増対策については市長も最重要公約の 1 つに掲げ、様々な施策を講じていますが、特効薬がないのが現状です。今までの経済最優先の価値観から幸福度というところに目を向け、子育て環境や教育環境を充実させ、若い世代が坂出に来るように角度を変えて人口増を図ろうというのが市長部局のやり方と受け止めています。</p> <p>(質疑) 坂出市は丸亀市と高松市の谷間に入っている。これをどうにかする対策は。 (答弁) 「谷間」というとらえ方は少し抽象的ですが、都市間競争もあって人口等も流動的になっています。 都市整備という面から考えると私たちが現在力を入れて考えて</p>

	<p>いるのは北インターのフル化です。これが実現すれば大規模災害時に本州から四国内に救援物資を送る拠点に坂出がなります。</p> <p>今後もこういう観点から坂出市の存在価値が高められるよう、市長部局と共に考えて参ります。</p> <p>(質疑) 太陽光発電が注目されているが、土地開発公社保有地の今後の活用は。</p> <p>(答弁) 公社保有地については今まで相当整理してきましたので減少はしていますがまだ残っています。太陽光発電については市の企業立地推進室に複数件の問い合わせがきており、そういった利用の可能性もあると考えております。</p> <p>(質疑) 市内循環バスの駅南方面の運行は。</p> <p>(答弁) 昨年10月から運行され、私たちも駅南地区の運行が課題であるという認識は持っていますが、なかなか1度にはいかないというのが現状です。</p> <p>乗車状況ですが、昨年10月が1便当たり2人、今年3月で2.1人です。皆様方にできるだけ利用して頂ければ次の段階が見えてきますのでぜひよろしくお願ひします。</p> <p>(質疑) 地方で懸命に子育てをして、大学を卒業させると子どもは東京で就職し、税金を東京に収める。税金の一部を苦労した親に還元できないか。</p> <p>(答弁) 地方交付税という制度があり、所得税や酒税の一部を集めて地方に分配しています。子どもが都会で働いて収めた税金を都会に取られてしまうという考え方もありますが、間接的には国から地方へ回って行くのもありますのでご理解をお願いします。</p> <p>(質疑) 消防団について。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 定年の年齢が変更になったが。</li> <li>② 女性団員について。</li> <li>③ OBの活用について。</li> </ol> <p>(答弁) ① 現在、高松市、丸亀市、善通寺市の3市が定年制を導入しています。坂出市では団長・副団長・分団長・副分団長・部長・班長・団員という階級がありますが、団員のみが62歳で、班長以上団長までが65歳としていたものを、今回の改正で全団員を一律65歳とすることとしたものです。</p> <p>② 消防団は今現在市内に10消防団ありますが、消防団本部が消防署の中にあります。女性消防団員はこの消防団本部の直属ということが決まっています。</p> <p>③ 前向きには考えているということでした。いつになるかはまだ分かりません。</p> <p>(質疑) 議会の広報について</p>
--	--

	<p>① 議会報告会の参加人数が少ない。対策は。</p> <p>② 議会の傍聴が少ないのは議会日程を市民が知らないのでは。</p> <p>③ 議会報告会の開催単位を細かくしては。</p> <p>(答弁) ① 現在は、市広報にビラを貼付、30枚のビラを各議員が地元関係者に配布、さらに坂出駅頭で議員有志がビラ配りという方法で開催の広報をしております。しかし参加者数の現状を見ますとまだまだ私たちの努力が必要であることを痛感しております。今後さらなる努力をまいります。</p> <p>② 以前は、開会3日前の議会運営委員会で日程を決定後発表していましたが、議会基本条例を検討する際に、議会日程を一日も早く市民にお知らせすべきであるということで、開催日だけを約1カ月前に決めて市の広報や市のホームページでお知らせするようにいたしました。</p> <p>細かい日程については市長、議長の公務日程等、様々な調整を要することから、あまり早く決定できないという事情がありますのでそれよりは後になってきます。まだまだ工夫の余地があると思いますので、これからも取り組んで参ります。</p> <p>③ 現在、議員22人が2班に分かれて役割を分担しながら運営をしています。議会基本条例の検討段階で議会報告会をどのような単位で開催していくかについて、小学校区単位ということも含めて何時間もかけて討議しました。理想的には、より細かい単位で開催できればいいのですが、皆様に納得頂ける充実した内容を確保するという意味で、今のところは中学校区単位で開かせて頂きたいと思っています。</p> <p>今後、より細かい単位での開催を目指して努力してまいりますので、もうしばらくご猶予を頂きたいと思っております。</p>
<p>要望・提言等</p>	
<p>その他特記事項</p>	

議会報告会実施報告書

開催日時	平成25年 4月25日 19時00分 ~ 20時30分
開催場所	瀬居中学校 体育館
出席議員	(班長) 松田 実 (副班長) 植條敬介 (司会) 木下 清 (記録者) 植條敬介 (議長) 末包保広 (班員) 東山光徳, 松成国宏, 野角満昭, 別府健二, 楠井常夫, 斉藤義明, 脇 芳美
参加市民数	6人
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶 末包保広</li> <li>・新年度予算概要説明 斉藤義明</li> <li>・委員会報告 総務消防委員会 別府健二 教育民生委員会 楠井常夫 市民建設委員会 野角満昭</li> <li>・閉会挨拶 松成国宏</li> </ul>
	<p>質疑応答</p> <p><b>堤防かさ上げ後の排水路について</b>          &lt;質疑&gt; 高潮対策で防潮堤をかさ上げしていますが、排水路が道路よりかなり下に位置しており、排水路から水が入ってくるのではないかと心配している。          &lt;答弁&gt; 別の場所ではトラップ式の蓋をしているところもあります。大きい排水路となっているのであれば大事なことであり、本日の答えにはなりません。改めて返答をさせていただきます。</p> <p><b>番の州多目的広場についての使用料について</b>          &lt;質疑&gt; 坂出市スポーツ施設条例(一部改正)についてですが、番の州多目的広場についての使用料は無料ですか、それとも申し込んで利用料を支払わなければいけないのでしょうか。          &lt;答弁&gt; 無料ですが、使用許可の申し込みが必要になります。</p> <p><b>地籍調査事業について</b>          &lt;質疑&gt; 地籍調査を開始していくと聞いていますが、これの目的と伺いますか、かなり多くの投資をすると思いますが効果を具体的に教えていただきたい。          &lt;答弁&gt; 地籍調査はすべての土地の境界を確定し、法務局に登録するということです。国がほとんどのお金を出しているのですが、</p>

自治体が主体になって全部の境界を確定します。将来は境界問題が一気に解決できます。県内でも坂出が出遅れています。今年に推進室を作って進められ30年くらいかけて13万筆を確定していきます。今後、優先順位は海に近いところからやっていき、番の州地区、沙弥島は今年度から事業に着手しますが、瀬居地区は現在のところ実施予定はありません。

<質疑>地籍調査が正確に測れたかどうか、過去の登記されているデータと相違が出た場合はどういう対応をするのでしょうか。

<答弁>地籍調査に基づく数字は謄本に記載されますので、新しい表示が出ます。実際の面積が登記簿謄本に出ますし、図面や更正図もできます。境界でトラブルが起きた場合は、必ずそういう時も双方が相談をし、境界画定をしないと将来にわたってその土地が不確定となります。

<質疑>現在登記されている面積がありますが、それと現実が違った時にどういう法的措置をするのですか。

<答弁>新しい地籍調査後の新しい情報で登記されます。

<質疑>本来土地は過少申告されているようなので、更正されれば固定資産上の課税問題も出てくるので、そういうことも含められるのかどうか。

<答弁>それは地籍更正後の数字で登記されますが、そういったところは理解していただかないといけないと思います。

<質疑>95%が国の補助が出るのであれば、5%以上は市の持ち出しはないということでしょうか。

<答弁>40億くらいかかるといわれており、市の負担は2億円ほどですが、ただし人件費は別ということになります。また結果が出なければ、それ以降は境界確定をする際に、自己負担となることとなります。

#### 市立病院建設後の健全財政について

<質疑>坂出市立病院が来年に完成予定ですが、坂出市の人口の割には大きな病院が3つあります。過去には市立病院は赤字財政でありましたが、市から1億余りを持ち出しして赤字病院を立て直ししておりましたが、今後の人口減少の中で投資をして耐えられるのでしょうか。

<答弁>議会がしっかり監視をし、予算の縮減や無駄な経費を見ながら健全経営を病院に求めていかなければなりません。もちろ

		<p>ん新病院に設備投資をして患者の増も考えなければいけませんし、赤字を出さないという覚悟で、議会も行政もそういう決心で進めていこうと思っています。</p> <p>&lt;答弁&gt;今想定している市立病院の入院患者や外来患者の数でいけば、診療単価も高度医療を進めることによって単価がいいです。そして最初の2年3年のうちは償却が非常に大きいからです、その間は決算書だけ見ると損益ではマイナスになります。金の回りはそれで賄えることができますよということです。また入院患者や外来患者が人口も減少する中、病院の関係者が言う人数が来るかどうかは、我々では想定できないのです。そういったところは適時正していかなければいけません。資金が回ってくるというのは、借りた借金の半分は市の一般会計から補てんするという形になりますが、その時に市の財政が十分なのかを我々も気を付けていかなければいけません。</p>
意見交換		<p><b>合併問題について</b></p> <p>&lt;質疑&gt;合併問題については、道州制について話がありますが、坂出市としては次の手は考えているのでしょうか。人口も減っていくので、香川県が道州制で一つになる前に次の段階を考えていることがあるのか、途中過程があれば教えてください。</p> <p>&lt;答弁&gt;宇多津とはゴミやし尿の問題、消防について広域行政を行っていますが、宇多津と坂出が合併するという話は出てきていません。</p> <p>&lt;答弁&gt;四国で一つになるのか中四国で一つになるのか、その区割りによって坂出のあり方も変わってくる。そして四国で一つという話になれば坂出の生き方をこれから考えていかなければいけません。そうすればおのずと小さいところと合併してもしょうがないので、選択肢の一つとして高松市と一緒にになるとか、将来的に考えていかなければいけないと思います。</p> <p><b>堤防の改修について</b></p> <p>&lt;質疑&gt;北浦自治会では、目の前の海の堤防の鉄筋がはみ出てぼろぼろになっています。1m50cm位の幅で3段になっていて、その真ん中付近で段が抜けたように3か所ほどそうになっている。2、3年経っていますが、現在では抜けた塊が段の外に落ち込んで、石垣の上に乗っかっている。高潮では壊れないだろうが、少し大きい地震などが来たら堤防がかなり壊れるのではないかと思います。</p> <p>&lt;答弁&gt;現在みなと課にも伝えており、調査検討しますというこ</p>

	<p>ととどまっていますので、具体的に今後の状況を詰めていきたいと思えます。</p> <p><b>地震の影響でコンビナートの危険性と諸課題について</b></p> <p>&lt;質疑&gt;市からの説明では、3 mで津波対策を立てていますが、瀬戸内海では、コンビナートもあり、震度7や8の地震が来ると、津波の心配どころかコンビナートが倒れて瀬戸内海が油の流出でいっぱいになるのではないかという意見も聞くがどうなのか。</p> <p>&lt;答弁&gt;南海・東南海地震において、コンビナートが崩壊する可能性はという点について、特に問題はないと聞いています。</p> <p>&lt;質疑&gt;瀬居地区は津波が来ると孤立するかもしれない。供給体制がないわけです。坂出市内とは別の問題があります。市の対策として、企業が瀬居地区に責任をもって供給しますとか、公にしてほしい。</p> <p>&lt;答弁&gt;これは番の州企業と島の人たちの中で、様々な話があると思えます。そういう機会にお話をさせていただき、企業も考えていただいているので公表できるのではないかと思います。また市と番の州企業との協議の場もありますから、そういった中で防災について安心安全に努力してもらい話をしていければと思う。</p>
<p>要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北浦自治会の海の堤防の鉄筋がはみ出てぼろぼろになっている。堤防について、地震があったときの危険性と改修について要望がありました。</li> <li>・瀬居地区の津波が来た時は、市内とは別の問題があります。市の対策として、市もしくは企業が瀬居地区に責任をもって供給体制をはっきりしてほしい。</li> <li>・高潮対策で防潮堤をかさ上げしていますが、排水路が道路よりかなり下に位置しており、その対策を検討して欲しい。</li> </ul>

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 25 年 4 月 26 日 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分
開催場所	金山集会所
出席議員	<p>班長 若杉輝久 副班長 中河哲郎 司会 大藤匡文</p> <p>出田泰三 若谷修治 茨智仁 村井孝彦 前川昌也 大前寛乗 吉田耕一 山条忠文</p> <p>記録者 若杉輝久</p>
参加市民数	20 人
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶 吉田耕一</li> <li>・新年度予算の概要 前川 昌也</li> <li>・委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>総務消防委員会 茨 智仁</li> <li>教育民生委員会 若谷修治</li> <li>市民建設委員会 出田泰三</li> </ul> </li> <li>・閉会挨拶 若杉輝久</li> </ul>
	<p>質疑応答</p> <p>(質疑) 浄化槽の点検について</p> <p>① 浄化槽の維持管理は民間業者に依頼しているが、それとは別に法定検査の知らせが来た。それにも費用がいるが。</p> <p>② 法定検査の検査内容からすると3年から5年に1度でもいいのでは。</p> <p>② 浄化槽の維持管理費用の負担が大きい。対策は。</p> <p>(答弁) 香川県浄化槽協会からの「浄化槽法定検査のご案内」の事と思われます。民間業者の維持管理とは別です。</p> <p>普段医者に通っている人でも1年に一回人間ドックに行って健康診断をするのと同じように、その浄化槽が適正に管理できているかどうかということを検査する制度です。</p> <p>浄化槽の大きさによって変わりますが、5～10人槽で5200円です。</p> <p>検査内容は浄化槽の放流水のBOD検査(※)で、浄化槽の性能から言えば、1回すれば3年間ぐらい構わないだろうという気持ちはわかるのですが、検査は法律で定められており、私たちとしてはそれがいいとか悪いとかという立場ではありません。ご理解いただきたいと思います。</p> <p>しかし、維持管理費用の負担が大きいのは事実であり、三豊市</p>



では「合併処理浄化槽維持管理費補助金制度」を設け、専用住宅の合併処理浄化槽(20人槽以下)の維持管理に3万円の補助金を出しています。

坂出市においてもこのような制度の創設に努力してまいります。

#### ※BOD 検査

BOD (Biochemical Oxygen Demand, 生物化学的酸素要求量) は、微生物が水中に溶け込んでいる物質を食べながら成長する際に必要とする酸素量をいいます。水中の酸素がなくなる(嫌気化する)と、好気性微生物は成長できませんから汚水はそのまま残ります。そして悪臭を発するなど、よくいう「水が腐る」状態になって水質汚濁の進んだ状態になることから、水質汚濁の指標としてこのようなBODを用います。微生物が、酸素を消費しながら成長する際のエサの多くが溶解性の有機物質であることから、また、BODの数字が大きいほど水中に汚れの原因となる物質が多く存在するという点で、一般的には有機汚濁の指標、水質汚濁の指標といわれています。

(全国浄化槽団体連合会ホームページより引用)

(質疑) 人口を減らさないためには街に魅力が必要だが、考えは。

(答弁) 人口増対策については特効薬がないのが現状で、総合的な対策を講じていかなくてはなりません。例えば若い人が住みやすい住宅環境の整備、子育て・教育環境の整備、防災対策、さらには市長が提唱する「古のロマンのまち坂出」に象徴される豊かな文化を持つ街の創造等、若い世代また高齢の世代が住みよい環境を総合的に作っていくことが必要だと思っております。

また先ほど総務消防委員会から報告のあったように、新規コンビニの出店に関連して食品加工工場が新設されます。また、市内遊休地に太陽光発電設置の問い合わせもあったと聞いております。

さらに私たちが現在力を入れて考えているのは北インターのフル化です。これが実現すれば坂出を、大規模災害時に本州から四国内に救援物資を送る拠点にすることができます。活力と魅力のある坂出を目指してまいります。

(質疑) 番の州プール跡地に多目的広場が整備され、今後ペタンク等の各種大会の開催が予想される。循環バスのルートに加えられるか。

(答弁) 循環バス南方面の運行につきましては昨日の会場でも要望を頂きました。高齢化が進む中、自分で車を運転できない人のために公共交通の充実はますます重要になってまいります。皆さん方の後押しを頂いて使い勝手の良い便にしたいと私たちも考えております。

	<p>(質疑) 市町合併について。</p> <p>(答弁) 合併の話は議会で統一した見解は出ていません。前市長また現在の綾市長も、行政サービスが行き届くという意味で、基礎自治体は小さいほど良いというのが考え方のようです。</p> <p>合併をするか否かは非常に大事な問題です。議会でどうこうというよりも市民の皆さんの意思が一番だろうと思いますので、まだそこまでの段階には来ていません。</p> <p>(質疑) 私の孫は金山小学校、東部中学校に通っているが、生徒数の減少が著しく、競争力の低下につながっているのではないか。小中学校の統廃合についての考えは。</p> <p>(答弁) 平成19年に坂出市の学校再編の検討がなされ、計画が出ております。それによりますと、統廃合を考える期間として平成19年から5年間は前期、そして6年から10年は後期、そしてそれ以上が将来となっております。</p> <p>金山小学校については将来構想という位置づけで、予定は東部小学校になっております。</p> <p>東部中学校につきましては坂出中学校と統合ということで後期の計画になっております。</p> <p>しかし、学校というのは地域の核でありますし、一番には子供にとって統廃合がいいのかどうかという視点から考えていかなければならないと思います。</p> <p>今のところ計画では前述のようになっていますが地域また保護者のご意見を頂きながら検討していくべき内容かと思っております。</p> <p>(質疑) 金山分院の跡地に墓地公園ができます。工事中の交通安全の確保は。</p> <p>(答弁) 地元説明会の中で1番大きな声があったのは工事中の交通安全、児童の安全確保です。それに関しましてはこれからの計画の中で地域の安全のために努力してまいります。</p>
<p>要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用合併処理浄化槽の維持管理費用の負担軽減について</li> <li>・金山分院の跡地墓地公園の工事中の交通安全確保について。</li> </ul>
<p>その他特記事項</p>	

議会報告会実施報告書

開催日時	平成25年 4月26日 19時00分 ~ 20時30分	
開催場所	白峰中学校 体育館	
出席議員	(班長) 松田 実 (副班長) 植條敬介 (司会) 木下 清 (記録者) 植條敬介 (議長) 末包保広 (班員) 東山光徳, 松成国宏, 野角満昭, 別府健二, 楠井常夫, 斉藤義明, 脇 芳美	
参加市民数	13人	
実施内容	議会報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶 末包保広</li> <li>・新年度予算概要説明 斉藤義明</li> <li>・委員会報告 総務消防委員会 別府健二 教育民生委員会 楠井常夫 市民建設委員会 野角満昭</li> <li>・閉会挨拶 松成国宏</li> </ul>
	質疑応答	当初予算並びに各常任委員会からの報告については特に意見はなく、意見交換の場として市が抱える課題を説明し、質疑を行いました。

意見交換	<p><b>坂出市立病院の建設と経営課題について</b></p> <p>起工式が終わり26年の秋の開院を目指して建設に取り組んでいます。今後の入院患者、外来患者についての想定が、人口が減少する中で、当然ながら出てきます。しかし今は高度医療で診療単価が非常に高くなっており、入院日数なども考慮し、経営においては診療単価のアップというのが大きく気をつけています。これから開院してからのチェックは十分にやっつけていかなければいけません。</p> <p>&lt;意見&gt;必要なのは75億円プラス4,5億円でしょうか。そのうち10億が国県の補助があって、60数億が市民の税金と、収入で賄うということでしょうか財源はどうなるのですか。</p> <p>&lt;答弁&gt;基本計画で予定していた新病院建設工事や医療機器等に係る経費、25年度予算に新たに計上した立体駐車場建設工事費及び土地購入費を加えて試算すると、総事業費は約66億9,000万円、財源内訳は、県補助金等が約10億3,900万円、病院事業債が約52億3,200万円、自己資金が約4億1,400万円となります。</p> <p><b>坂出市立病院の防災面について</b></p> <p>&lt;意見&gt;市立病院について、先日ハザードマップで津波が来た時に、坂出の市立病院の場所も浸かるというのを見せてもらったのですが、その対策というのはどうなっているのでしょうか。</p> <p>&lt;答弁&gt;当初の設計段階ではなかったのですが、ハザードマップのことが出され、その対策はしています。正確な数字ではありませんが、約80cm当初の計画より上げて、おそらく高潮については大丈夫であろうという水準で設計をし直しました。</p> <p><b>産科の再開について</b></p> <p>医師確保に奔走しており、今のところ医師確保はできていません。病室や診察室は確保し、助産師の募集や準備はして、医師がそろったところで再開という段階です。</p> <p><b>市庁舎建設について</b></p> <p>平成21年に耐震診断をしたところ、震度6強で崩壊するという結果がでました。大幅に耐震性が不足しており、市民のご意見を聞く必要があるということで、昨年11月に新庁舎建設市民会議を11名選出して発足しました。その後議会としても検討していくべきだろうということで、平成25年1月に11名で新庁舎建設特別委員会が作られました。今後も庁舎建設基金の積み立てと、本年度の基本計画の策定について進められます。</p>
------	--

#### 公共交通の対策について

一昨年から最初に府中・西庄ルートがデマンドタクシーとして始まり、昨年に市内循環バスと加茂・神谷・林田経由のデマンドタクシーが10月からスタートしました。林田経由の青海行きの路線を変更し、交通空白地域の解消に努めています。またデマンドタクシーの1日当たりの利用者数は、府中湖東区域は2.4人、府中の西区域は5.6人くらいとなっています。加茂・神谷・林田ルートは、一日当たり3.5人という状況です。また市内循環バスは、まだまだ浸透していないということで、1便当たり約2人となります。

今後も高齢化により、交通弱者に対する対策はどうしても必要です。そこで利用者登録について、できれば多くの皆さん登録してほしい。今の65歳以上の登録状況は、府中35.6%。西庄は8.3%。加茂は31%、神谷は19.5%、林田は38.5%となっております。今後大いに活用していただけるように、お願いします。

#### 消防団の状況について

これまで消防団員の確保が難しくなってきたということで、女性消防団員を20名、年齢は18歳から50歳までということで募集しております。女性ができるという火災予防や啓発活動についての消防団員になります。

#### 坂出市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等の基準を定める条例について

<意見>この条例の内容を教えてください。

<答弁>地方分権一括法といって地方に任せていこうとどんどん下ろして権限を与えるということです。これまで国が決めていたことを、今後はその中の人員や基準について細部にわたって市の裁量も入れながらできるようにした条例になります。

#### ため池ハザードマップについて

<質疑>ため池等ハザードマップ作成事業とありますが、これはため池だけですか。それとも台風とか津波とか地震のマップが前に頂いたものがありますが、今回4月1日に四国新聞に載ったあいうハザードマップが市の方から新しく出るのですか。

<答弁>これはため池だけのハザードマップ作りになると思いますが、全体の防災については国の基準が見直されており、最大規

	<p>模の災害対策ということでハザードマップは今後出る予定となっています。</p> <p>&lt;答弁&gt;坂出市は県内でも池がたくさんあり，個人の池まで合わせると市内に400余あるということです。個人の池は150から160あり，共同で管理している池が200余あります。池の決壊があれば大きな被害が出るということで，堤防の強さやいろんな面の調査をする予定で，今回は大きい10か所の池で3700万もの事業費を使います。決壊したらどのような被害が出るというだけでなく，現在の堤防がどの程度の土質で堤防を作っているのか，どの程度の地震でもてるのかをかなりのところの調査をすると思います。</p> <p>&lt;答弁&gt;今後の坂出市のハザードマップについてですが，例えば土砂災害ハザードマップは，王越や府中など山の多い場所では，中讃土木事務所も含めて地域での意見聴取や説明会をしていきながら，土砂災害ハザードマップを作ることを検討しています。また高台一時避難所についてもマップの作成を坂出市も検討しています。本年度は津波ハザードマップも県の出した資料を含め修正中であり，先般地域防災計画の見直しもできましたので，それぞれのハザードマップと連携した形で坂出市民の安心安全のために進めていこうということで検討しております。</p>
<p>要望・提言等</p>	
<p>その他特記事項</p>	